会議の概要(議事録)

会議の名称	（番号） １－２３	令和８年度　第２回すみだ共生社会推進センター運営委員会	
開催日時	令和８年１０月３０日（金）午前９時３０分から午前１１時００分まで		
開催場所	すみだ共生社会推進センター		
出席者数	【委　員】　１１人 内田　淳　　大関　光子　　国松　てるみ　　坂根　慶子 杉山　敦志　　髙林　マリ子　　武市　海里　　西澤　直子 （欠席：入江　寿　古野　ひとみ）　（５０音順・敬称略） すみだ人権同和・男女共同参画事務所長 すみだ人権同和・男女共同参画事務所男女共同参画係長 すみだ共生社会推進センター館長 【事務局】　すみだ共生社会推進センター職員		
会議の公開（傍聴）	公開(傍聴できる)　部分公開(部分傍聴できる) 非公開(傍聴できない)	傍聴者数	０人
議題	１　令和８年度すみだ共生社会推進センター事業等進捗状況及び今後の予定 ２　各協力委員会活動報告 ア　編集委員会 イ　まつり企画委員会 ウ　講座委員会 エ　情報資料委員会 ３　男女共同参画担当からの報告 ４　その他		
配付資料	資料１　令和８年度すみだ共生社会推進センター事業および参加者数一覧 資料２　各協力委員会活動報告 その他　講座等周知用チラシ		
会議概要	１　開会 館長から会議の公開と議事録作成のための録音について了解を求め、了承された。 ２　議事（司会：委員長） （１）令和８年度すみだ共生社会推進センター事業等進捗状況及び今後の予定 当センターの事業等進捗状況及び今後の予定を資料１を用いて説明すると共に、令和８年４月より事業拡充した「すみだ男性悩み相談」の実施内容及び相談件数また、すみなかまつりの実施報告を行った。 【主な意見、質疑等】 ・（委員）「すみだ男性悩み相談」の事業拡充の理由とその後の状況を知りたい。 ⇒（事務局）配偶者暴力相談支援センターとの連携で面接相談が必要であったため、男性のＤＶ相談窓口として夕方から夜間の相談窓口を増やした。 ・（委員）夕方から夜間の窓口対応が増えれば相談者も来所しやすくなるのではないか。 ⇒（事務局）現在まで数件の問い合わせはあるが、面接相談の実績はない。 ・（委員）電話の対応先はセンター内なのか？		

	⇒（事務局）センター内で対応。委託事業者による専門の相談員が相談室にて対応している。 ・（委員）委託先の相談員は、窓口職員か？ ⇒（事務局）違う。委託事業者の専門相談員が相談専用回線で対応。専用回線への通電は相談員が直接対応している。 （２）各協力委員会活動報告 各協力委員会の委員長から資料２を用いて報告。 【主な意見、質疑等】 ・（委員）講座委員の活動報告で区のほうでも知らないという説明があったがこれはどのような意味か？ ⇒（委員）講座内容の検討を進める際に、講座講師を探す中で区の職員でも専門的な知識を持つ方がどこの部署にいるのか、どこから探せば良いのかが判然としないことがある。講座のテーマに合う講師を探すことが非常に難しい。 ・（委員）情報誌「すみなか」は紙媒体だけでなくＰＤＦファイルでも作成している。ＰＤＦファイルで発信することによる反響、または紙媒体が減っていくのかの見通し ⇒（事務局）ＰＤＦ化によって、区民以外の方の目にも広く触れられている。しかし、紙媒体による発行も必要と考えている。実際にＰＤＦを見ていただいている人数も不明なことから紙媒体による発行は今後も行わせていただく。 ⇒（事務局）ＰＤＦはＨＰで公開している。全国どこでも見ることが可能。実際に他自治体にお住いの方からＰＤＦを見て紙媒体を送付してもらいたい依頼もあったが、区民向け啓発情報誌という理由でお断りした経緯もある。 ・（委員）ＰＤＦを公開していることによる他自治体からの交流・問い合わせ等はあるか。 ⇒（事務局）他自治体からの問い合わせ等はないが、区内各所からの問い合わせはある。 ⇒（委員）すみなかまつりは大勢の方に来所していただき内容も充実していたと思う。各講座についてはすみなかでないと実施できない講座内容の工夫はもちろん、講座講師の選定については、運営委員会でも協力体制を今後検討する余地があると考える。 （３）男女共同参画担当からの報告 ・11 月 14 日（土）14 時～15 時 30 分に開催予定の『「我慢する」から「支え合う」へ、避難所から考えるみんなの防災』について説明を行った。 （４）その他 特筆事項なし。 ３　閉会 館長より次回の運営委員会は、令和９年２月頃開催予定と説明した。 会議の概要は以上である。
所　管　課	総務部　すみだ人権同和・男女共同参画事務所　すみだ共生社会推進センター （電話　5608－1771）